

令和6年度事業報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団

◇海王丸パーク◇（面積：約10.0ha）



◇富山新港臨海野鳥園◇（面積：約4.6ha）



◇富山県新湊マリーナ・新湊マリーナ緑地◇（面積：約16.5ha）



令和6年度の海王丸パークの入込数は84.48万人、前年比0.38万人の増（+0.45%）とほぼ横ばいとなった。これは、令和6年1月1日に発生した能登半島地震（地盤の隆起・沈下・液状化等の被害が発生）の影響により、能登と県内を周遊するツアー等が控えられたことから、途中で海王丸パークを訪れる旅行者が減少したため大きな伸びにつながらなかったものとみられる。現在は一部のエリアを除き通常どおりの運営に戻っており、県による本格的な復旧工事も始まっている。今後も県や市、関係機関と協力し、地震前の状態に戻すための本格的な復旧に向け取り組んでまいりたい。

帆船海王丸の総帆展帆は、荒天や夏の異常な暑さなど天候に恵まれず、予定していた10回のうち6回が中止となった。海洋教室は予定していた19団体を受け入れ、うち宿泊は6団体（昨年度も6団体）を受け入れた。

春・夏・秋の大型自主イベントを予定どおり開催するとともに、民間団体等による音楽・フードフェス、バイクミーティング、車とコーヒーのイベントなど、多彩なイベントが海王丸パークを会場として催された。

新湊マリーナは、令和6年度から新たに専門業務（クレーンによる船の上下架等）と、船舶用の燃料販売を開始した。こうした作業を行うために必要な資格等を持つ人員の確保・育成という課題は残るものの、今のところ運営に大きな支障はきたしておらず、今後も安定したサービスの提供に努めてまいりたい。

I 海王丸パークの管理運営

1 パーク内のプランターの植栽、芝生管理、清掃等

(1) 植物管理

- ・芝管理（約1.9ha）
- ・樹木管理（プランター植栽、剪定、害虫駆除、雪囲い等）

(2) 施設管理

- ・清掃（園内、パーゴラ展望室、トイレ、石床面）
- ・自家用電気工作物保安管理、遊具点検・補修
- ・「展望広場」の供用（H30.4月～）

利用サービス向上の観点から大雪・風雪注意報発令時や12m以上の風が続く場合に限り閉鎖し、開放の機会を増やした（R4.11月～）。

※ R4.11月までは、上記条件に加え、
雷・強風・大雨注意報発令時も閉鎖

・案内看板の増設

※ 来園者に野鳥園への誘導を促すため、
これまでも案内看板を増設しているが、
令和6年に新湊ライオンズクラブから、
海王バードパークの案内看板が県に寄贈された。



（野鳥園への誘導看板）

- ・R5.6月、海王丸パーク周辺を「徒歩で散策」する案内マップを作成し、R5.6月から財団HPに公開するとともに日本海交流センター（事務室窓口）及び海王丸乗船窓口に配架している。案内マップは、新湊大橋の「あいの風プロムナード」を往復するショートコース（約3km・約1時間）と、内川周辺を巡り、帰りは万葉線で戻ってくるロングコース（約4km・約1.5時間）の2種類。



(案内マップ)

2 日本海交流センターの管理運営

(1) 展示ホールでのパネル展示等

- ① これまでの「世界の帆船模型展」に加え、令和4年度から新たに「海王丸関係資料等の展示」、「展示用パネル」を常設し、常設展示物の充実を図っている。



(海王丸関係資料等の展示)



(展示用パネルの常設)

- ② 「世界で最も美しい湾クラブ」加盟の紹介
- ③ 「きららか射水」の紹介
- ④ 環日本海地域へのゲートウェイ・日本海側の「総合的拠点港」伏木富山港
- ⑤ 「わたしたちと海」

(2) 施設の利用促進

研修室の会議等への利用、談話室の賃貸

(3) 館内の清掃、機械警備等

3 帆船海王丸保存事業

帆船海王丸を「海に浮かぶ生きた帆船」の姿で保存し、美観を守るため、船体の諸法定検査の受検と定期的な保守点検作業及び整備保存工事を行うとともに、乗船者の安全確保に努めた。

(1) 法定検査等

- ① 船舶安全法にかかる検査 第1種中間検査（毎年） 令和6年7月3日
- ② 消防設備保守点検 令和6年9月11日、令和7年3月12日

(2) 日常の保守点検整備

- ① 公開区域の保守整備（清掃、木甲板磨き、真ちゅう磨き等）
- ② マスト・ヤード・セイル等帆装艀装設備の保守、点検、補修及びセイルの製作

- ③ 船体各部の発錆部の補修等
- ④ カッター(6艇)の保守管理
- (3) 船体整備等
 - ① 船体及び展示マスト・ヤードの塗装
 - ② セイルの取付け及び取外し
 - ③ 帆装艤装整備
 - ④ 電灯改修
 - ⑤ 非常用発電機整備
- (4) 災害防止
 - 船内防災センターにおける24時間集中監視の実施

4 帆船海王丸公開事業

帆船海王丸船内を一般公開した。

また、海王丸カレンダーの印刷配布、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムなどによる各種情報の発信を行い、帆船海王丸のPRに努めた。

有料乗船者のうち、希望者に対してはロケットカードを配布した。

(1) 一般公開

空調配管修繕のため令和6年7月23日、降雪や積雪のため令和7年1月9日～10日及び令和7年2月6日～9日、公開を休止した。

これら以外の期間については、定休日、船体整備期間（4月6日～7日、10月31日～11月22日、2月15日～3月7日）を除き、一般公開を実施した。

① 公開時間

区分	期 間	時 間
ア	4月1日～7月19日 9月1日～10月30日 3月8日～3月31日	9時30分～17時
イ	7月20日～8月31日	9時30分～18時
ウ	11月23日～2月14日	9時30分～16時00分

② 乗船料の減免

ア 無料

- ・海王丸進水記念日 2月14日
- ・総帆展帆日の小学生、学校行事で乗船する小学生と引率者
- ・パワーバレンタインウィーク期間中の小学生及び誕生日が2月14日の人

イ 半額

- ・パワーバレンタインウィーク期間中のペア及び海王丸公式SNS フォロワー

- ② 乗船者数 49,993人 一般公開以来の延べ乗船者数 2,328,380人

年度	乗船者数
令和2年度	27,996人
令和3年度	31,940人
令和4年度	56,307人
令和5年度	56,297人
令和6年度	49,993人

(2) 総帆展帆とボランティアの育成

① 総帆展帆の実施

10回予定のところ4回実施（荒天や夏の酷暑の影響により6回中止）。

令和6年度の年度当初は天候に恵まれたこともあり、4月～5月は

3回連続してフルセイル（全29枚を展帆）を実施できたが、4回目は荒天の影響で枚数を減らして実施し、5回目以降は荒天や夏の酷暑の影響により総帆展帆は6回連続で中止となった。



（総帆展帆）

② ボランティアの育成

新規ボランティア数は39人（R⑤59人）

ア ボランティア登録者数（令和7年3月末現在）

区 分	人 数		
登録者数	男 528人	女 325人	計 853人

イ 「ボランティアの集い」

日時：令和6年12月1日 11時～12時

場所：クロスベイ新湊（2階 iCN ホール）

参加人数：70人（来賓を含む）



（ボランティアの集い）

(3) 帆船海王丸の縦帆ミニ展帆、満船飾

縦帆ミニ展帆：イベント開催日等に縦帆4枚を展帆。12回実施

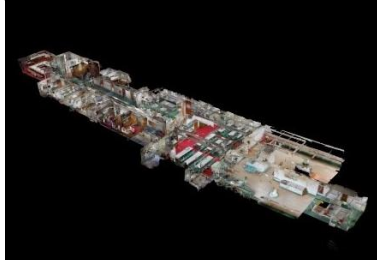
4月12日、4月21日、4月29日、5月4日、5月12日、6月2日、
6月23日、7月28日、8月11日、9月8日、10月6日、
10月14日 ※7月14日、11月3日は荒天のため中止

満船飾：記念日に国際信号旗を掲揚。3回実施

5月4日、8月11日、令和7年2月14日
※7月15日、11月3日は荒天のため中止

(4) ホームページ、フェイスブック、インスタグラム等

- ・帆船海王丸に関する情報、海王丸パークで開催される各種イベント情報等を掲載。
- ・平成30年12月から、海王丸の3DとVR（仮想現実）の映像を公開。
- ・令和2年4月から、スマートフォン、タブレット等に対応しリニューアルした。



(海王丸の3DとVR（仮想現実）の映像)



(スマートフォン、タブレット等に対応)

(5) 夜間イルミネーション、ライトアップ

イルミネーション： 毎日（船体整備期間を除く）、日没時から22時まで実施

ライトアップ： 毎日、日没時から22時まで実施。

なお、世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間（4/2～8）はブルー、
世界小児がん啓発月間（9/1）はゴールド、
手話言語の国際デー（9/23）はブルー、
パワーバレンタインウィーク（2/8～14）はピンク、
国際女性デー（3/1～9）はオレンジ色への
ライトアップ変更を行った。



(ピンクにライトアップされた海王丸)

5 錬成等事業

帆船海王丸を活用し、規律正しい団体生活を通じて、児童、生徒、青少年の公德心、
友愛、協調性及び責任感を体験習得させ、海と港と船に関する理解と知識を広めるため、
海洋教室を開催した。

(1) 青少年錬成事業

・海洋教室の開催

コース別	開催期間	参加団体数	参加者数	主な内容
宿泊コース	5～10月	6団体	248人 (うち引率 43人)	船内見学、結索実習 甲板清掃、操帆実習

日帰りコース	5～9月	13団体	518人 (うち引率 63人)	マスト登り、カッター訓練
計			766人 (うち引率106人)	



(手旗信号訓練)



(マスト登り)

(2) 「帆船海王丸絵画コンクール 2024」の実施

(第28回「ぼくらの夢帆船」帆船海王丸絵画コンクール)

小学生(射水市内及び県西部の小学生)を対象に絵画コンクールを実施し、優秀作品を表彰するとともに、日本海交流センターに展示。

コンクールを通じて、児童の海・港・船に関する理解と知識が深まるよう努めた。

- ・応募数 202 作品
- ・入賞作品展示 9月21日～10月27日、日本海交流センターホールで展示
- ・表彰式 10月27日、日本海交流センター第1・2研修室



(下学年の部最優秀作品)



(上学年の部最優秀作品)

6 海事広報活動の普及・推進

滑川高等学校生の受入れ(海王丸を活用した海事教育)

- ・2年 12月10日 7人、引率2人
- ・3年 12月11日 13人、引率2人

7 イベントの実施(財団主催行事)

(1) 鯉のぼり掲揚式、花の迷路開園式(4月12日)

- ・鯉のぼりの掲揚（4月12日～5月5日）
- ・花の迷路の設置（4月12日～11月30日）

(2) ちびっ子天国 in 海王丸パーク（5月5日～6日）

- ・海王丸パーク内にふわふわ遊具、エンタメショー、児童クラブ連合会の協力による親子工作教室、フリーマーケット、カーボンニュートラルクイズ、クラシックカー・みんなを守る車の展示等を実施。
- 来場者約3.9万人。



(ふわふわ遊具)

(3) 海王丸パークフェスティバル（7月14日～15日）

- ・海の日を記念して、海王丸船長との記念撮影、ちびっこランド等を実施。
- 来場者約1.6万人。



(ちびっこランド)

(4) 秋のファミリーフェスティバル（9月15日～16日）

- ・海王丸パーク内にふわふわ遊具、エンタメショー、小型船「なご」による海王丸一周クルーズ、県児童クラブ連合会による親子工作教室等を実施。
- 来場者約2.2万人。



(なごクルーズ)

(5) パワーバレンタインウィーク in 海王丸パーク（2月8日～14日）

2月14日が「進水記念日」とバレンタインデーであることを記念して開催

- ・進水記念日は乗船料無料
- ・期間中の小学生及び誕生日が2月14日の人は乗船料無料
- ・期間中のペア及び海王丸公式SNS フォロワー乗船料半額
- ・特製チョコプレゼント（2月11日・14日）
- ・満船飾、特別公開見学会(海王丸の非公開区域)



(満船飾)

(6) 「恋人の聖地」関連事業の実施

海王丸パークのシンボル「帆船海王丸」が H25.1 月に「恋人の聖地」に選定され、同10月に「恋人の聖地記念モニュメント」を設置。

H30.7 月に「帆船海王丸」が「ふね遺産」に認定されたことを記念し「海王丸幸せのパワースポットシリーズ」として、「幸せのペア帽子」及び「幸せの愛カギ」の販売、「幸せのフォトフェイス（顔出しパネル）」の設置を展開。R5.9 月からは新たに、希望の時刻に合わせて、事前に預かったメッセージを海王丸の船内放送で読み上げる「幸せのベル・サ

プライズメッセージ」をシリーズに加えている。

また、コロナ禍により R3・4 に受付を中止していた海王丸の「船上結婚式」を R5. 11 月に再開している。

(7) 2025 年海王丸カレンダー作成

総帆展帆予定日を記載した A 2 判カレンダーを 1, 200 部作成し、県内小中学校・旅行者等に配布した。

◎海王丸パークの年間入込数 844, 800 人

年 度	年間入込数
令和 2 年度	563, 500 人
令和 3 年度	577, 000 人
令和 4 年度	853, 600 人
令和 5 年度	841, 000 人
令和 6 年度	844, 800 人

II 臨海野鳥園（海王バードパーク）の管理運営

1 野鳥観察指導員の配置による野鳥解説の実施

休園日を除く土・日曜日、祝日は、野鳥観察指導員による野鳥の解説や、観察方法のアドバイスを実施。来園者に野鳥に関する知識を深めてもらうため、観察センター内に野鳥図鑑や関係資料を備えておくとともに、野鳥愛好家が撮影した貴重な写真などを展示。

また、ホームページ、フェイスブック等を活用し、季節によって観察できる野鳥が異なることなども PR した。

2 探鳥会（5 回）の開催

渡り鳥の飛来時期などに合わせて、野鳥に関する知識の豊富な講師を招いて探鳥会を年 5 回実施。うち 1 回は、野鳥講演会を併せて開催

(1) 探鳥会

回	開催期日
1	4 月 7 日
2	11 月 10 日
3	12 月 15 日
4	2 月 16 日
5	3 月 16 日



(探鳥会)

(2) 野鳥講演会

3 月 16 日 探鳥会と同日に実施

講師：和田 浩一 氏（日本野鳥の会富山 調査部長）

演題：「富山の野鳥調査あれやこれや」



(3) 年間入込数 2,230 人 (R⑤ 2,120 人)

来園者が減少傾向にあったことから、これまでも海王丸パークから野鳥園に誘導する「案内板」を増設しているが、令和6年に新湊ライオンズクラブから、海王バードパークの案内看板が県に寄贈された。

(4) 野鳥観察指導員登録者数 25 人

Ⅲ 新湊マリーナの管理運営

設備・機械の保守・安全点検や構内見回りにより、マリーナの安全な利用環境の確保に努めた。

1 マリーナ施設及び同緑地の管理運営

- ・50 t テルハ式クレーン保守点検（1 回／年）
- ・20 t 自走式クレーン保守点検（1 回／年）
- ・ジブクレーン保守点検（日常点検）
- ・浮栈橋保守点検（1 回／年）
- ・消防設備保守点検（2 回／年）
- ・自家用電気工作物保安管理（1 回／月等）
- ・新湊マリーナ夜間巡回警備（繁忙期：2 回／日、閑散期：1 回／日）
- ・監視カメラ・ライブカメラによる監視
- ・構内見回り（緑地管理・保管艇管理）、機器の安全点検（1 回以上／日）

- ・保管艇増に伴う上記作業量増に対応した人員体制及び有資格者の確保
- ・令和6年度からの新たな業務（クレーンによる船舶の上下架、燃料販売業務）を開始するため体制を強化（マリーナ課の設置）した。

2 マリーナ保管・利用状況（令和7年3月末現在 登録数 336 艇）

(1) 登録数（艇）

区 分	陸置艇	競技用小型ヨット	栈橋係留艇	合計
3 月末現在（A）	127 艇	83 艇	126 艇	336 艇
保管可能数（B）	207 艇	100 艇	183 艇	490 艇
収容率（A／B）	61%	83%	69%	69%

(2) 保管艇内訳（令和7年3月末現在の保管艇内訳）

区 分	大型ヨット	競技用小型ヨット	モーターボート	合計
保管艇	38 艇	83 艇	215 艇	336 艇
割 合	11%	24%	64%	100%

3 利用促進等事業

(1) 営業時間の延長（平成29年度から）

4月1日から9月30日までの土日祝については、営業時間を午前8時30分から終了時間を30分延長し午後5時30分までとした。

- (2) 高圧洗浄機のレンタル（平成21年度から）
利用者へのサービス向上のため実施
- (3) 修理ヤード利用料金の無料化（平成22年度から）
利用（契約）者に対するサービスとして、修理ヤードの利用料金（日額2,100円）を無料としている。
- (4) ホームページ及びフェイスブック（平成27年度から）による情報提供
毎日の風向風速・釣果情報・イベント案内・スタッフのブログ等、情報発信に努めている。平成28年度からはライブカメラを設置し、ホームページで公開している。
- (5) 国際VHF無線の基地局設置（平成24年度から）
利用者アンケートからの要望により国際VHF無線を設置した。これにより、海上にいる利用者へ気象情報や安全情報を提供している。
- (6) 早朝開門の実施（令和3年度から）
4月1日から11月30日までの土日祝については正門を午前5時に開門し、利用者の利便を図った。

(7) 修理ヤードの増設

手狭となっていた修理ヤードを陸上保管ヤードの一角（空きスペース）に新設した。

(8) ガイドブックの作成

令和6年度に施設の利用マナーを分かりやすく解説したガイドブックを作成し、全契約者に配布した。

(9) その他

- ・製氷機の設置



(ガイドブック)

5 マリーナ職員による安全対策

- (1) 構内見回り点検（1回以上/日）
- (2) 上下架装置の安全点検（1回/日）
- (3) 海上安全指導
- (4) 荒天時警戒（保管艇）
- (5) 栈橋貝落とし作業（1回/年）
- (6) 緑地公園草刈作業（2回/年）
- (7) 強風時増しもやい作業
- (8) 施設内洗浄作業



(職員による点検)



(海上安全指導)

6 企画・自主事業

(1) 販売艇展示事業

販売艇(10艇)を展示し、保管艇の増及びマリーナの振興と活性化を図った。



(販売艇の展示)

(2) レンタルボート事業

気軽に富山湾を体験できるレンタルボート事業を平成 29 年度から実施してきたが、令和 6 年度から新たにクレーンによる船の上下架、船舶用の燃料販売を開始したことにより、現状の職員体制では実施困難のため休止中。

(3) 燃料販売事業

令和 6 年度から燃料販売業務を開始した。

7 その他

・マリンチック街道の認定

平成 31 年 3 月から、国土交通省により、プレジャーボート等によるクルージングに、海の駅等に寄港・上陸して近郊の観光地やグルメスポット等を巡るという要素を加えたモデルルートを認定するマリンチック街道として、新湊マリーナを起点・終点とする「富山湾」が認定されている。

IV 県営渡船の堀岡発着場における運航補助業務の実施

県営渡船の堀岡発着場における陸上作業員として、乗下船する旅客及び車両の誘導その他県営渡船の運航に係る補助業務を行った。